

令和8年4月1日

## 短期大学部商経科 アセスメントプラン

### アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

### アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	卒業アンケート	DP1-1～3-2	毎年3月	2年次(卒業時点)	学修経験、学修行動、修得した能力、大学の満足度	教授会・全体会議・自己点検評価・FD委員会	集計結果が経営学部学生センター(短期大学部担当)より提供される。学修支援、学修環境の充実、自己点検・評価に活用する。
2	卒業生の進路状況	DP1-1～3-2	毎年1回	2年次(卒業時点)	卒業生の進路(就職・編入学決定者数)	進路指導委員会・自己点検評価・FD委員会	進路指導委員会及びキャリアセンターで集計する。集計結果は教授会・全体会議に報告される。進路指導委員会は、編入学支援・就職支援の充実に活用する。自己点検評価・FD委員会は自己点検・評価を行い、活用する。広報入試対策委員会はホームページに掲載するなど情報公開に活用する。
3	卒業生アンケート	DP1-1～3-2	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業	大学で身についた能力、ディプロマ・ポリ	教授会・全体会議・自己点	集計結果が経営学部学生センター(短期大学部担当)より提供される。学修支援、学修環境の充実、

				生	シー関連項目の達成度・社会での活動度	検評価・FD委員会	自己点検・評価に活用する。
4	編入学先・就職先アンケート	DP1-1~3-2	毎年1回	卒業生編入学先・就職先	学修成果、修得した能力	自己点検評価・FD委員会	自己点検評価・FD委員会が実施し、集計結果を教授会・全体会議に報告する。集計結果は自己点検評価・FD委員会及び教務委員会において学修支援や学修環境の充実など、自己点検・評価に活用する。
5	GPS-Academic (3年)	DP1-1~3-2/CP	毎年1回	短大から編入学した経営学部3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	教授会・全体会議・自己点検評価・FD委員会	IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者が、調査結果を学部へ報告する。調査結果を自己点検評価・FD委員会が集計し、教授会・全体会議に報告する。必要に応じて、短期大学部長の指示により、各種委員会は集計結果について検討を行い、授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用し、改善を図る。
6	全国学生調査(2年)	DP1-1~3-2/CP	毎年1回	2年次	学修経験、学修行動、修得した能力、大学の満足度	教授会・全体会議・自己点検評価・FD委員会	集計結果が経営学部学生センター(短期大学部担当)より提供される。授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用する。
7	学修振り返りアンケート	CP	毎学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	各教員・教授会・全体会議・自己点検評価・FD委員会	結果が経営学部学生センター(短期大学部担当)より提供され、自己点検評価・FD委員会が集計し、集計結果を教授会・全体会議に報告し、カリキュラム改善や自己点検・評価に活用する。教員は、アンケート結果を授業方法の改善に活用する。またリフレクションペーパーの作成により、自らの授業へのフィードバックの結果を公開する。
8	成績不振学生、休退学の調査	CP	毎学期1回(成績不振)、随時(休退学)	全学年	学業不振の状況(GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	教務委員会・対象学生担当教員	経営学部学生センター(短期大学部担当)が教務委員会及び対象学生の担当教員に対し面談による修学支援や学修支援を要請する。必要に応じて自学部のカリキュラム改善、自己点検評価に活用する。また休学・退学等の学籍異動に関わる場合は、教授会・全体会議に報告する。各教員は、担当する個々の学生に対し面談等を実施し、修学及び学修支援に活用する。

9	学部長会談	CP	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度、学生生活に関する要望等	短期大学部長	<p>実施後、必要に応じて、短期大学部長の指示により経営学部学生センター(短期大学部担当)は学生からの意見・要望を教授会・全体会議に報告する。</p> <p>【学修行動、授業・カリキュラム満足度に関する意見】 学部は、会談内容をもとに授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用する。必要に応じて、短期大学部長の指示により、各種委員会は会談内容について検討を行い、改善を図る。</p> <p>【学生生活に関する要望】 経営学部学生センター(短期大学部担当)は、内容を精査し、学修・生活環境の改善に活用する。必要に応じて、短期大学部長の指示により、各種委員会は会談内容について検討を行い、改善を図る。</p>
10	GPS-Academic (1年)	AP	毎年4~5月	1年次	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	教授会・全体会議・自己点検評価・FD委員会	IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者が、調査結果を学部へ報告する。学部は、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価に活用する。必要に応じて、短期大学部長の指示により、各種委員会は調査結果について検討を行い、改善を図る。
11	英語プレイスメントテスト	AP/CP	毎年1回	全学年	外部英語テスト	教務委員会・進路指導委員会	教務委員会は、入学時点の英語習熟度を把握し、習熟度別語学教育のクラス編成に活用する。また、入学後の学修進度を把握し、クラス編成とカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用する。

以上